謹啓　楼花爛漫の候　いよいよご健勝のこととお喜び申し上げます

さて　私こと

○○月末日をもちまして○○株式会社を定年退職いたしました

思えば　平成○○年の入社以来　三十年の間　大過なく勤務することができましたことは　ひとえに皆様のご高庇の賜物と　深く感謝申し上げます

歳月を振り返りますれば万感胸にせまりますが　心新たに再出発に臨む覚悟でございます

なにとぞ今後も旧に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます

まずは　略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます

敬白

　　令和○○年○月○○日

〒100-0000　東京都中野区本町○ー○ー○

電話　〇三（○○○○）○○○○

山　田　太　郎